

漁海況情報

沖縄県水産海洋研究センター

901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号
電話 098-994-3593・3597
FAX 098-995-2357

2010年(平成22年)2月 第447号

最新情報提供：沖縄県水産海洋研究センターURL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

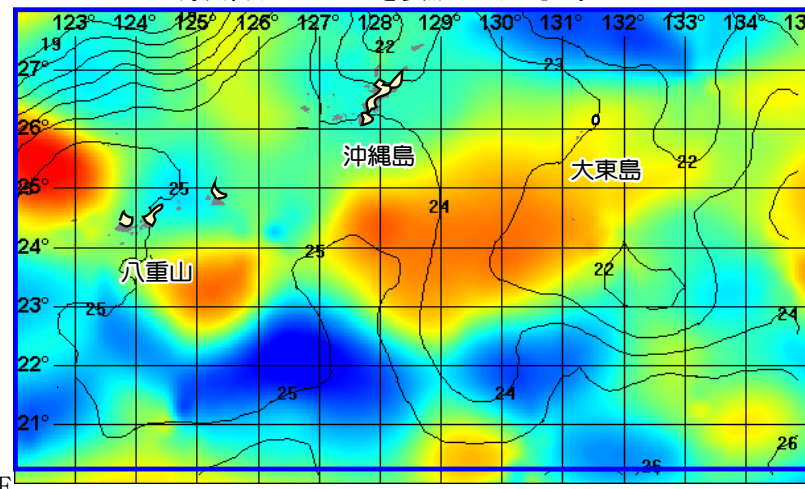
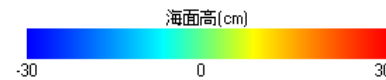


図1. 表面水温分布図(22年4月2日) 資料：東シナ海海況速報(漁業情報サービスセンター)



携帯電話からのアクセスはこちらへ(QRコード)→

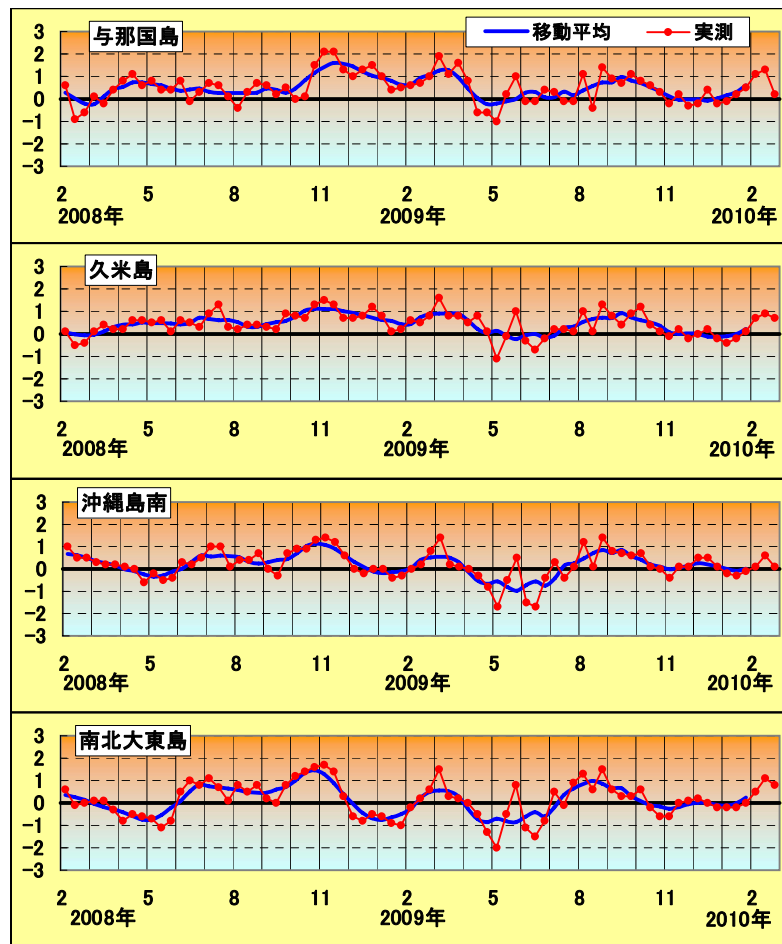
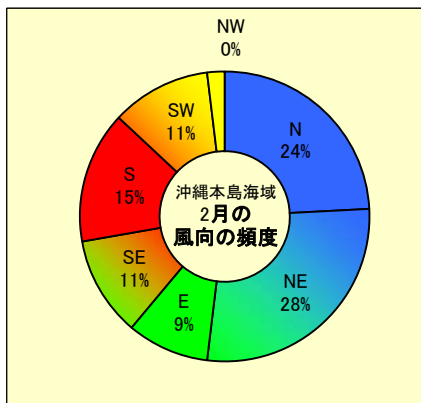


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台)

表面水温と先月との差	
平成22年3月28日	現在
与那国・八重山	25~26°C 0~+2°C
宮古島	24~25°C 0~+2°C
久米島	24~25°C +2~+3°C
沖縄島南	24~25°C +2~+3°C
南北大東島	22~23°C ±1°C

海況：4月の東シナ海南部および沖縄東方の海面水温は上旬平均並み、中旬高め下旬平均並みからやや高めで推移する見込み(3月31日：気象庁地球環境・海洋部発表)。一方、北緯24度、東経128度付近を中心に比較的強い勢力の暖水性渦の影響で宝山・大九曾根付近では強い北東向けの流れが発生している模様(3月31日：長崎海洋気象台発表、西日本海況旬報より)。



那覇の風向風速予報：
2月は、北東よりの風が全体の28%、北よりの風が24%を占めた。
また、沖縄本島では風速9m以上の観測日は20日で風の強い日が多かった。(琉球新報天気欄より)

2月の表面水温年平均偏差	
与那国	年平均並み
久米島	やや高め
沖縄島南	年平均並み
大東島	やや高め

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ・シビ、伊良部では、シビの水揚げが多かった。

表1 2月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	0.3	0.4	0.0	0.4	1.0	0.4	2.1
クマガキ	0.3	0.1	0.1	0.1	0.5	0.0	12.2
沖サワラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
カツオ	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	1.9
キハダ	14.4	11.6	1.0	7.5	34.5	1.4	38.6
シビ	4.8	6.0	1.1	2.6	14.5	19.5	37.6
メバチ	0.4	0.1	0.0	0.2	0.7	0.0	0.8
計	20.4	18.1	2.2	10.8	51.5	22.3	93.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

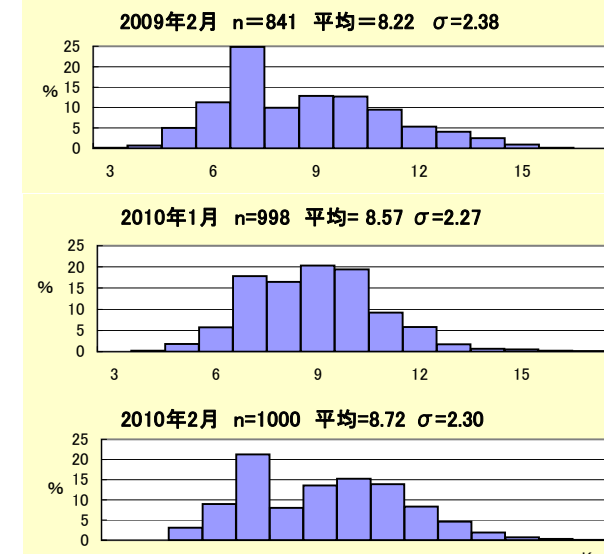


図3 糸満漁協のソデイカ重量(壺抜き)の頻度分布
nはデータ数：集計したソデイカの匹数
σは標準偏差：データの大きさのばらつきが大きいほど数値が大きい

図3は重量から作成した頻度分布である。図4は県内のソデイカ漁獲量の推移と過去5カ年の平均を示す。2月に糸満漁協で水揚げされたソデイカの平均重量は8.72kgで、1月より0.15kg大きくなり、昨年2月の平均重量を0.5kg上回った。2月に漁獲されたソデイカは7kgと9~11kgサイズが多く、昨年2月と比較すると若干大きめのサイズが漁獲されている。(図3)。一方、今年の漁期始まって以来、県内のソデイカ水揚量は過去5カ年平均値に比べて低く推移している(図4)。



ネズミフグ(アバサー)

糸満では、シビが4.8t、キハダ(10kg以上)が14.4t漁獲された。港川でキハダが11.6t、シビが6.0t、知念でシビが1.1t、キハダが1.0t、沖縄市でキハダが7.5t、シビが2.6t、伊良部でシビが19.5t、漁獲された。(表1)

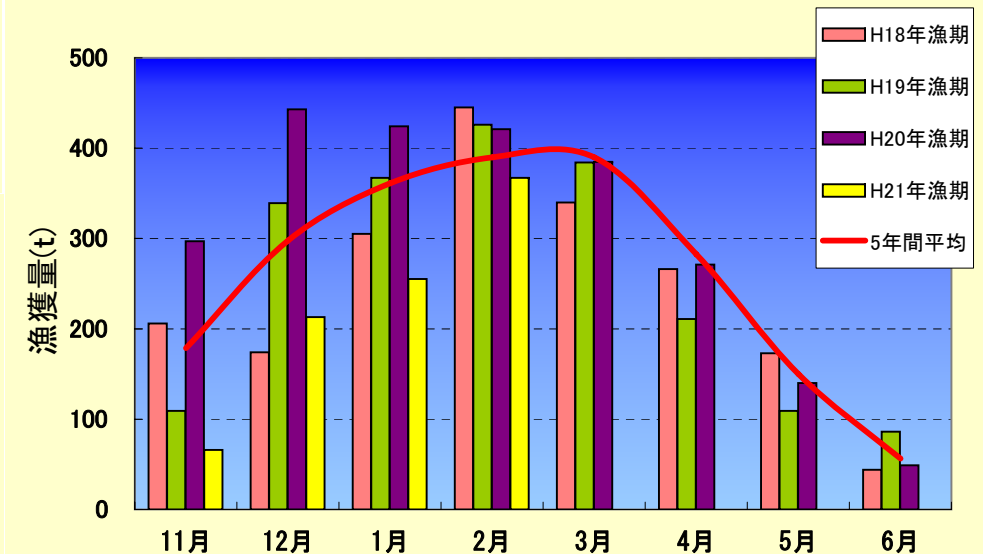


図4 ソデイカ月別漁獲量の推移

表3 2月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置				小型定置				合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	石川	金武	名護	勝連	与那城	金武		
ミズン類	301.7	0.0	5.3	145.3	919.0	70.0	32.7	140.0	1,614.0	1,614.0
カマス	72.4	26.8	15.8	29.4	7.5	2.9	19.1	77.8	251.7	260.3
ヤマトガレイ	16.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	17.0	17.0
ムロアジ	0.9	433.1	23.8	12.0	0.0	0.0	31.0	0.0	500.8	500.8
ガツン	2,668.9	41.9	24.2	100.5	4.7	1.2	16.9	20.5	2,878.8	2,879.2
ガーラ	104.9	36.2	1.9	0.0	6.2	3.9	1.8	19.2	174.1	233.8
グルクマ	1.4	10.8	9.0	120.0	0.0	84.9	1.2	89.0	316.3	316.3
カツオ類	63.9	20.6	19.6	2.9	0.0	3.4	135.3	11.4	257.1	257.1
タチウオ	7.0	189.8	0.0	20.9	0.8	4.8	0.4	2.5	226.2	247.1
アイゴ	0.0	31.6	0.0	119.7	1.9	1.8	7.5	0.5	163.0	212.7
合計	3,237.4	790.8	99.6	550.7	940.8	172.9	245.9	360.9	6,399.0	6,538.3

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

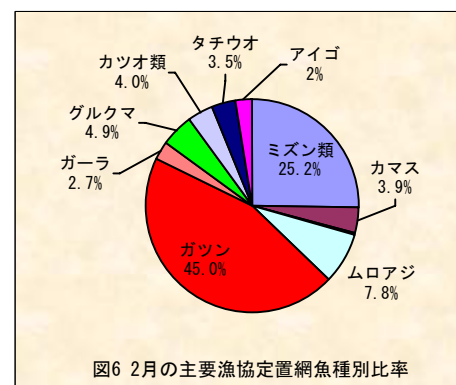


図6 2月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：2月の全体の漁獲状況は、6,538.3kgで先月(9,135kg)と比べ減少した。ガツンの漁獲が45.0%、ミズン類の漁獲が25.2%を占めた(表3、図6)。